



# 与謝野町 第44号 平成29年5月25日発行

# 議会だまり

題字：加悦谷高等学校 書道部(吉岡里恵さん)



三河内曳山祭り

昨年度決算 ブランド戦略 … 2  
 予算質疑 …………… 4  
 一般会計予算 《付帯決議》 …9  
 補正予算 …………… 10

臨時会 公共料金値上げ ……11  
 特別職給与減額 ……………14  
 一般質問 ……………16～  
 まちの宝 保育所・幼稚園 …24



与謝野町  
議会だまり

第44号

発行：与謝野町議会 編集：与謝野町議会広報特別委員会  
 住所：〒629-2498 京都府与謝野町与謝野町字加悦(加悦庁舎3階)

TEL: (0772) 43-9027 URL <http://www.town-yosano.jp>  
 FAX: (0772) 43-1555 E-mail: [gikai@town.yosano.lg.jp](mailto:gikai@town.yosano.lg.jp)

## まちの宝 子どもページ

### 市場保育所の紹介

市場保育所は、1歳児から5歳児までの子ども達が通所しています。毎月、集会を通して約束ごとを聞く日、食育活動として食に関心を持ち学ぶ日、園内で交通の勉強をする日、月の誕生日を祝う日、避難訓練をする日など、年齢に応じた参加ですが、子ども達は頑張っています。



4月入所時には集会に集まるのが精一杯の子ども達が、翌年3月には成長した姿が見られ、話を聞くとときもキラキラした目で輝きをもちながら聞けることを目標にしています。

また、安心、安全の中でいろいろな活動を通して経験や体験をしながら子ども達が元気で笑顔があふれ、健やかな育ちができるようにと願っています。



三河内幼稚園では、様々な直接的な体験活動やいろいろな人との温かい触れあいの中で子ども達を育てています。

また、運動遊び・ことば遊び・自然や社会とかかわった遊び・栽培活動などの遊びを通して心身ともに健康で心豊かな子どもの成長を大切に考えながら、主体的に活動し自己充実できる子どもと育ち合う子ども集団を育成することをめざしています。



今年のテーマは「おまつり わっしょい」で、運動会では和太鼓演奏をしたり、よさこいを踊ったり、作品展では三河内祭りや加悦谷祭りを再現し、屋台や神輿、神楽を作りました。異年齢児保育では仲間も活動をする中で思いやりの心や優しい言葉が育ってきています。



### 三河内幼稚園の紹介

新しい視点での  
産業振興

# ブランド戦略

# 桑の栽培・シルク開発始まる

本年度の予算編成は普通交付税の合併算定替えの影響から、前年度から見るとさらに減少することとなるため経常費については、マイナスイ

「6つの政策」に重点予算

予算のポイント

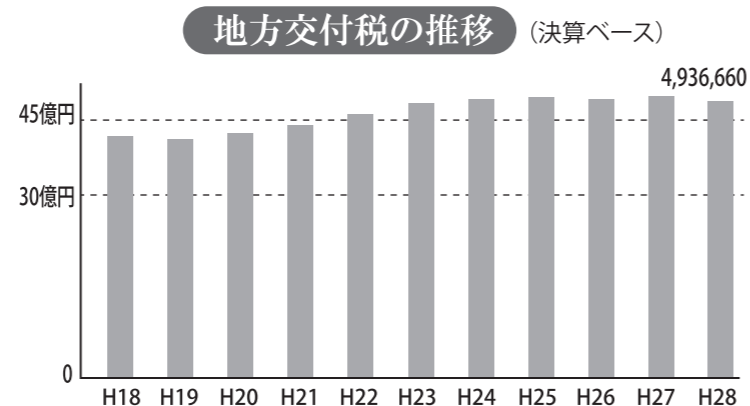
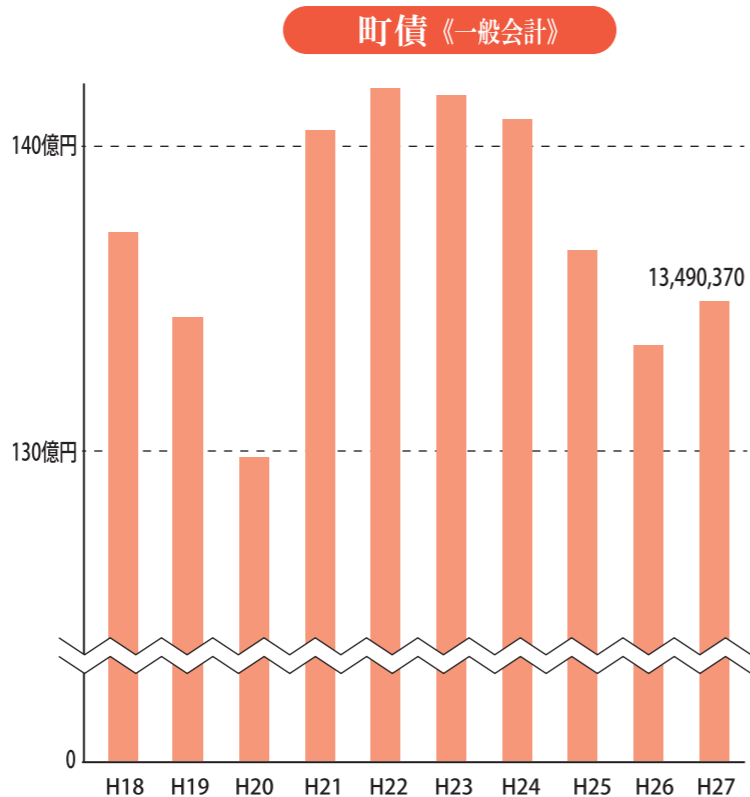
賛成多数で可決 賛成13:反対2  
議員提出  
付帯決議可決 賛成12:反対3

ングとなるよう予算編成を実施した。  
厳しい財政状況下だが、6つの政策の中でも①新しい視点での産業振興②新たな視点での子ども子育て支援③未来を見据えた教育施策については予算を重点配分する。その財源については「地方創生推進交付金」（国の補助金50%）を活用し、事業の推進を図る。

平成29年度会計別予算額

単位:万円

会計別	総額
一般会計	115億4400
特別会計	
宅地造成事業	8928
下水道	16億9150
農業集落排水	4100
介護保険	
事業勘定	26億5790
サービス事業	1500
土地取得	41
国民健康保険	
事業勘定	31億600
直診勘定	7000
後期高齢者医療	2億7960
財産区	9480
小計	80億4549
合計(A)	195億8949
水道事業会計	
収益的収入	6億7476
収益的支出(B)	4億5819
資本的収入	1億3868
資本的支出(C)	3億1158
総合計(A)+(B)+(C)	203億5926



2年目のホップ収穫

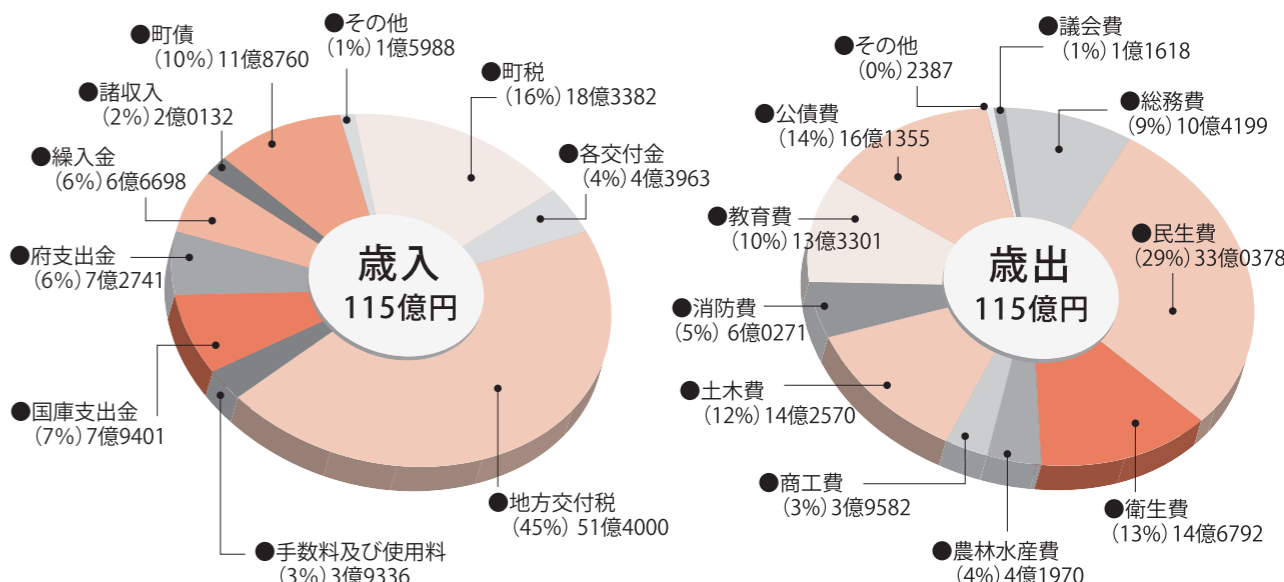
3月定例会は2月24日から3月28日までの33日間で開催した。初日に町長より平成29年度の施政方針が示され、人権擁護委員の選任など36議案について説明をうけた。常任委員会では所管事項について述べ7日間にわたり審議した。  
本会議では、企画財政課と商工観光課の2課を商工振興課・観光交流課・企画財政課の3課に編成替えする庁舎内組織の変更や特別職給与の減額変更条例に質疑が集中した。  
一般会計予算、条例改正、議員提案などの議案に延べ81人が質疑を行い、活発な議会となった。一般質問には15議員が登壇し、「教育問題やまちづくり」などについて議論が白熱した。  
追加も含めた全50議案の中で8議案について賛否が分かれた。なお傍聴者は延べ27人だった。

3月定例会のようす

## 財政調整基金繰入れ5億2800万円「財政運営慎重に」

### (一般会計115億4400万円)

《単位:万円》



**一般会計審議**  
 新年度一般会計予算では延べ34人の議員が質疑を行った。ブランド戦略事業3年目に入り、今年度には実績や実行が求められている。産業振興、シルクプロジェクトなどに質疑が集中し、理事者の見解をただした後、採決を行い賛成13、反対2で可決した。予算可決後に議員提案による付帯決議が提出され賛成12、反対3で可決した。

# 平成29年度予算質疑 5日間で延べ34人

## 高校の魅力第一は学力

高岡伸明



加悦谷高校

**問** 高校魅力化の重点は。 **社教課長** 高校と魅力を一につに。町にあった魅力を検討している。  
**問** 第一志望は普通科だ。学力重視になるのでは。 **社教課長** 学力・クラブ

活動は重要だ。選ばれる加悦高になるよう意識をもってほしい。町も応援する。  
**問** 加悦高は、学舎制でなく単独校でなければ、魅力化は進まないのでは。 **社教課長** 高校があることが重要だ。直接影響はないと考える。

## 阿蘇海を美しく

**問** 阿蘇海の水質は人が入っても問題ないのか。 **任環課長** 人体に直接影響はない。  
**問** 阿蘇海の水質浄化対策を府に對しどのように

要望しているか。 **任環課長** ヘド口の除去、海水の交換、海水の循環に取り組んでいる。

## 豪雨による冠水の恐れ

**問** 豪雨による堂尻川の排水対策は。 **建設課長** 高水位だと流れが悪くなる。調整池を作るには場所の確保ができない。財源も難しい。



コンセプト「みえるまち」

## 大丈夫？ブランド戦略

家城 功

**問** シルクプロジェクトでも、昔から取り組んでいる町内の関連企業や団体にも声をかけ、参考意見

見を求め、町が一体となって事業を進めなければ結果にはつながらない。 **商観課長** そういった方

**町長** 一歩一歩、持続可能な織物産業のあり方を確立できる取り組みを進めていきたい。  
**問** 事業遂行は説明責任を果たし、段階ごとに順序の中で進めるべき。  
**町長** しっかりと受け止め進めていきたい。

にも関与いただく投げかけをしていきたい。  
**問** やる気のある方若い世代の方々に目を向けることも大切ではあるが、全体の底上げができて初めて次につながる。お金を出す支援だけがプロジェクトではない。  
**商観課長** 一定の成果があったと聞いている。意見も含め、今後につながる取り組みを進めたい。  
**問** この事業はセシモニーではない。仕事の創出が目的。実現可能な取り組みをすべきだ。

## ブランド戦略の推進を

今田博文

**問** ブランド戦略は町長の二丁目一番地だ。町民に見えるように、展望もしっかりと示すべきだ。 **町長** 住民への広がりには不十分があった。  
**問** 目に見える、手で触れる、味がわかることに踏み込むべきだ。 **町長** 今年度は体感でき

るようにしたい。  
**問** 事業推進には首長がリーダーシップを取り、原課がしっかりとフォローすることだ。 **商観課長** 組織体制が甘かったと反省している。  
**問** 町民や事業者への「共感や参画が得られなかった」など、事業の推進体制の課題が解消できるのか。  
**町長** 必ずやり遂げる。  
**問** 地域ブランドの到達点はどう考えているのか。  
**町長** 中小企業振興基本条例の体得にある。



ビジネス商談会

## 窓口の対応

有吉 正



笑顔の対応

**問** 役場の窓口の対応が悪いと議会でもよく取り上げられる。たまにしか行くことはないが、最近の宮津の法務局の対応は実に親切に教えてくれる。

対応に対するアンケート用紙も渡される。取り入れてはどうか。  
**副町長** まず法務局のアンケート用紙を見てから研究する。  
**問** 町報3月号でひまわりバス、丹鉄、丹海バスの回数券、定期券の4項目のほかに4月から日交タクシー利用券の交付が加えられた。これまでやむを得ず交付を受けたが利用できない方もあるのではないか。タクシー券と交換できる手立てはないか。  
**防災課長** 定期券や回数券の利用途中の方などがあると思う。制度上、年度を超える交換はできない。

## 運転免許証返納支援

**問** 町報3月号でひまわりバス、丹鉄、丹海バスの回数券、定期券の4項目のほかに4月から日交タクシー利用券の交付が加えられた。これまでやむを得ず交付を受けたが利用できない方もあるのではないか。タクシー券と交換できる手立てはないか。

## 生活密着・循環型事業

伊藤幸男

**問** ブランド戦略は、住民から「解らない。多額の税を使っている。国のいいなりでいいのか」との批判が多い。住民が求めているのは中小企業振興基本条例の生活密着型・循環型事業であり、我々が提案した電気商と保安協会との連携事業は。 **町長** その事業は大変有

意義な制度だ。商工会などと協議し進めたい。  
**問** 全国的にも有名になり、町の大きな経済貢献した住宅改修事業は、まさに生活密着型・地域循環型事業だ。ある県では県挙げて取り組み住民からも喜ばれているが、庁内でも検討してきたが、現時点で出来ない。  
**町長** 府の補助基準額まで出していない事業があり、その不足額を町が肩代わりしているが。  
**町長** 町村会を通じて府にも申し入れており、少しずつ改善されている。



住宅改修事業は今後の課題

## 京都府の補助金は問題

**問** 府の補助基準額まで出していない事業があり、その不足額を町が肩代わりしているが。  
**町長** 町村会を通じて府にも申し入れており、少しずつ改善されている。

# 与謝野ブランド戦略

多田正成

**問** 桑の葉刈取・養蚕の各事業者は決定しているのか。  
**副町長** 農事組合で栽培者を協議する。養蚕、シルク事業者は商工会、丹工等で協議していく。

**問** 「桑・ホップ・豆」各々の事業が継続できるのか。リスクマ  
**農林課長** アシスト会議に金融機関も入り、展望はあつた。  
**問** 3年間の試験栽培は理解する。独立採算で栽培農家が起業できるのか。  
**副町長** ホップ栽培3年目



阿蘇シーの将来イメージ

**問** 府教委はキャンペーン制をほぼ決定。後は政治力しかない。  
**町長** 現行で継続したい。その中で魅力化を図る。

## 高校魅力化推進事業

**問** 基金を取り崩さず交付税減額に対応する予算編成のシミュレーションは出来ているのか。  
**企財課長** できていない。

## 平成34年基金が枯渇

小牧義昭

**問** 立事業1268万円の負担910万円の内訳は。  
**農林課長** ホップ生産3年目に充当予定。



岩屋保育所跡

## 担う子供の予算充実

**問** 子育て支援センター事業委託料502万円、政策形成過程によると加悦野田川756万円は直営。岩滝はNPOに委託756万円÷211378万円、その差124万円のサービスの差は。  
**子育課長** 助産師等の対応相談回数の充実を図る。与謝野農業モデル確

## 地域のやる気おこし

**問** ブランド戦略事業8166万円、町民受益の経済循環サイクルは。  
**商観課長** 基盤の構築。町が予算執行することで地域のやる気おこしを行っていく。数字では示せない。プラットフォーム化を設けることで、金融の支援や町外からの進出企業を喚起する予算執行と認識している。

## 観光協会への高額予算

**問** 組織体制強化での2026万円の内訳は。  
**商観課長** DMO設立での事務局組織の強化を図る。



待たれる再開 道の駅

## 道の駅閉店回避の提案

藤田史郎

**問** 一般質問でも発言したが、閉店を避けるため緊急的措置として、観光協会での体験プログラムの移動や農産物の販売などを提案したが。  
**商観課長** 一つの案として受け止めるが、関係団体との協議中であり、現時点では一時閉館となる。

**問** 閉館で指定管理料を除いて前年同様の予算が計上されているか。  
**商観課長** 当面は町管理での運営として、できるだけ早い開館を目指した予算である。

**問** 平成27年より局長を外部招聘し組織強化されてきたが、その検証はしたのか。  
**商観課長** 本年度末には、その成果など報告を受け検証していく。

## 産業振興会議の発足は

塩見晋

**問** 与謝野ブランド戦略関連の会議体が多くあるなかで、産業振興会議の人選をどのように考えているのか。  
**町長** 幅広く議論をするため若男女から、特に女性を求めたい。

**問** 第3期の振興会議は、田子學氏が来られてから委員の創業支援の様であった。その後1年間、立ち上げられなかった会議を、中小企業振興基本条例に添うようにするには、原点に戻す必要がある。  
**商観課長** 今回は「海の京都」でも実績がある新聞社に委託しているが、今後の議論も必要である。

**問** 行われているが、写真、印刷などを毎日新聞社に出している。  
**町長** 出来栄もあるが、地元の業者を使うことで地域循環型の経済になる。地域に仕事を回すという気持ちだが、まず必要だ。

**商観課長** 今回は「海の京都」でも実績がある新聞社に委託しているが、今後の議論も必要である。

**問** 壁新聞「うちのまち」が発



第3期産業振興会議

## 行政は裏方の役割を

和田裕之

**問** 与謝野ブランド戦略は、巷では「停滞」とか「失敗」と言われている。見直し方針でこれまでの各施策やプロジェクトの現状や課題を分析され、立ち上げが必要と検証さ



山田学童保育

**問** 近年、学童保育に求められる役割やニーズは拡大している。虐待や福祉的支援を要するケースなどの早期発見、また子どもを標的とした犯罪が社会問題となる中で、安全・安心な居場所の「提供」がより求められているが学童の充実の考えは。  
**社教課長** 希望者ができるだけ多く入れるようにしていくこと、指導員の増員や定員の拡大など、引き続き努力をしていきたい。

## 学童保育の充実拡充を

**問** 企業ではプレミアムフライデーが実施されている。庁内でも月一度、課ごとに午後3時から「明日の我が町」など職員間で意見交換の機会を設けては。  
**副町長** 各課内で話す機会はあるが、その様なテ

## 職員の意見交換を

安達種雄

**問** 企業ではプレミアムフライデーが実施されている。庁内でも月一度、課ごとに午後3時から「明日の我が町」など職員間で意見交換の機会を設けては。  
**副町長** 各課内で話す機会はあるが、その様なテ

## 加悦SLを観光資源に

**問** 当時の観光客増加に向けて、加悦SL広場の蒸気機関車を動かす計画は。首都圏の東武鉄道が



春満開 加悦SL広場

**町長** 以前にも指標を基に試算したことがあり、京都鉄道博物館や機関車の所有者と協議する。

# 阿蘇シーサイドパーク

渡邊貫治

**問** 犬の運動会（全日本フリスビードッグ協会）が3日間テントを張って行われたが、料金をもらったか。

**商観課長** もらっていない。

**問** 町民に、下水道、水道、し尿処理料金の値上げをお願いしていて、不合理ではないか。

**町長** 料金についてはまだ整備ができていない。海の京都・美心与謝野

**問** 阿蘇海活用型の滞在交流事業500万円が計上されているが、何に使われるのか。

**商観課長** 阿蘇海航路造成プラン作成・実証実験である。天橋立から岩滝航路の復活を考えている。海からのアプローチも考えている。

**問** 棧橋はどうするのか。  
**商観課長** 地方創生交付金を使い、31年度に約2800万円で棧橋をつくりたい。



開催されたフリスビードッグ大会

# 阿蘇海の浄化は

宮崎有平

**問** 阿蘇海の浄化の取り組みと現状は。

**住環課長** 阿蘇海協働会議の中で、京都府に要望している。海水の交換調査などを実施した。

**問** 未来の大学とは

**企財課長** 28年度のトライアル事業として、レゴエディケーション・ちり



きれいな阿蘇海を

めん街道と尾藤家・シェアリングエコノミー・雪舟と岩滝・空き家リノベーション実践塾・リベラルアーツ推進事業・人材育成事業を実施した。これらの集大成として29年度から未来の大学を開く。**問** ものづくりでも、女性が活躍できる場所や環境づくりが必要だ。**町長** 地域力・創造力・国際性・教養を柱に大学の構成を組んでいく。それに合致する提案であり、検討する。

## 高齢者に減免措置を

**問** 森林公園の屋内交流広場が、高齢者に対して減免措置がされていない。

**商観課長** 過去の事例にとられず、指定管理者と協議をし、改善する。

**問** 森林公園の屋内交流広場が、高齢者に対して減免措置がされていない。

**商観課長** 過去の事例にとられず、指定管理者と協議をし、改善する。

## 【前号の訂正とお詫び】

前号（第43号＝2月10日発行）の9ページ下段、宮津与謝環境組合議会報告の欄の運営業務委託契約の最下段「契約の相手方：タクマ・金下特定建設共同企業体」を、「契約の相手方：タクマ・タクマテクノス特定運営共同企業体」に訂正し、お詫びいたします。

議会広報委員会

# 賛否別れる一般会計予算

## ブランド戦略雲散霧消

小牧義昭

**反対論**  
①特別職人件費2967万円では、15%の引き下げ議案が否決、約124万円の正当性が欠如。

②非常勤特別職350万円を計上、「参与としない」の突然の町長発言で由に浮いた予算計上。  
③与謝野ブランド戦略ア

ドバイザー統一デザイン制作800万円「町長は白紙状態だ」と発言。全く計画・根拠が無い。地方自治法第210条（総計予算主義の原則）地方財政法第3条（予算の編成）第1項及び第2項の根拠条文により、適性を欠くと思料されることから反対討論とする。

## 賛成討論

現在、町の課題は少なくない。中小企業振興基本条例の具体化は、地元業者の切実な願いだ。地域循環型・生活密着型事業を基軸に、早急に取り組んでい

ただきたい。協働の町づくりでは、強力に取り組む必要があり、町づくりの土台をなすものと確信する。貧困と格差が大きな課題になっている今、町独自の政策が求められている。暮らしと営業を

# 地域密着型を基軸に

日本共産党議員団 高岡伸明

守る町政の実現に総力で奮闘することを期待している。我々も全力で頑張る。

# 新年度予算 議会が12名の賛同で付帯決議案を可決

平成29年度、一般会計予算の可決後、発議によって付帯決議案が提案され12対3で可決されました。

## 仕事の創出がきえるのか 付帯決議の内容

新年度の与謝野ブランド戦略事業は、国の地方創生推進交付金など総額8100万円の事業で、①シルクプロジェクト事業②テキスタイル産地化事業③プロトタイプ開発支援事業④都市農村交流事業⑤産地プロモーション事業⑥町内プロモーション事業⑦与謝野ブランド戦略アドバイザーの7つの事業が計画されている。事業目的の「しごと

創出」にどこまでつながるのかも不明確であり、補助金依存の感も拭えず、先行きの不安を感じる。地方創生は、地域から積み上げていく大切さを説き、課題と向き合い、自らの力で解決できる仕組みの構築が必要である。

のかという説明に努め、議会と町民の理解を得る事業の遂行に努めること。② 事業遂行の検証を行い、町民や議会に経過報告を行う。③ 地元業者のしごとづくりとしての循環型経済、生活密着型事業につながる

① 町民や町内業者が納得できる説明に努めること。今後どうなっていく

④ 新組織与謝野ブランド戦略推進協との連携・充実を努め、遅滞なく推進すること。以上、決議する。



にぎわうホップ収穫

9 ※ 原稿はすべて本人が提出しています。

# 公共料金改正で 住民負担の増加

## 2月臨時議会

### 給水条例改正（水道料）

- 給水条例（水道料）の改正
- 下水道条例（使用料）の改正
- 農業集落排水施設条例の改正
- 廃棄物の処理・清掃条例の改正
- 28年度一般会計補正第6号

2月臨時会は2月3日から2月7日まで5日間の日程で開催され、議案5件などを審議した。上下水道料と汲み取り料の改正案が審議され議決した。

町水道事業は、国の制度改正（平成19年度）により、簡易水道を上水道に統合することになり、公営企業会計に移行して独立採算で事業運営することが義務つけられた。町では今日までの施設

### 改正の内容

- 料金改正の実施時期は、平成29年7月請求分より
- 1カ月の使用量で1㎡当り10円（5.6%）の値上げ。（但し8㎡以下は生活弱者対策で料金据え置き）



安心な水を

### 財政と値上げの関係は

塩見 晋

平成24年、町長が議員のときの改定では反対をされた。立場が変わり、今回は値上げの提案をされるが、町全体の財政的な状況は、当時と今も大きな変わりはないが、

当時の水道と簡易水道の二重料金で一体感の差異が生まれる事が大きな理由。中・長期的な観点では、安定供給の面から環境整備も必要で、料金改訂は避けられない。

(8㎡までは生活弱者対策で料金据え置き)				
(7月請求分より) 1㎡10円(5.6%)の値上げ。				
基本料金(月額)			超過料金(1㎡につき)	
口径	8㎡まで	10㎡まで	20㎡まで	162円
13mm	1,429円	1,529円	30㎡まで	172円
25mm	1,477円	1,577円	50㎡まで	182円
40mm	1,619円	1,719円		

11 ※ 原稿はすべて本人が提出しています。

## 平成28年度 補正予算

# 除雪対策 1億円 冷凍米飯施設 1億1400万円

### 概要説明

#### ■一般会計7号

除雪作業委託料  
当初予算2774万円  
で、管理費及び町内全域1回分の見込であったが、集中的な大雪のため、町内全域4回分と山間部19回分の除雪委託費として約1億円の増額補正。

#### ■一般会計8号

冷凍米飯加工設備  
管理運営事業費  
香河地区にある加悦フアー・マーグライスの貯蔵庫・精米加工棟・出荷棟の建築と精米設備に係る費用の追加補正。国の交付金5700万円を含む総額1億1400万円。  
■簡易水道特別会計3号  
基金の廃止に伴い財政調整基金及び減債基金を全額繰り入れる他、施設維持管理経費の減額、加悦簡易水道改良事業費の減額。

### クアハウスの存続は

今田博文

調査委員会への諮問は、行政の方向性を示しているのか。  
商観課長 改修するのか、民間に譲り渡すのか、廃止にするか、意見を聞く。

### 平成28年度 3月補正予算 (単位:万円)

会計別	補正額	予算総額
一般会計7号	△1億5723	140億1899
一般会計8号	1億5405	141億7304
特別会計	簡易水道3号	8億3540
	下水道3号	△279
	農業集落排水2号	1
	介護保険3号	△2719
	国保4号	△1億524
	後期高齢者2号	△224

## 2月臨時会・3月定例会 賛否一覧

賛否もの分かれた議案のみ掲載 ○印は賛成 ×印は反対 欠は欠席（議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の成否を決定します）

審議案件	議員名	賛成 反対	有吉	高岡	河邊	小牧	安達	江原	和田	伊藤	藤田	宮崎	渡邊	多田	今田	家城	塩見	勢旗	
																			賛成
2月臨時会	給水条例の改正（水道料値上げ）	12:3	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	汲み取り料の改正	12:3	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度一般会計補正6号	13:2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	議会改革特別委員会の設置	6:7	○	○	×	×	○	×	○	欠	欠	×	×	×	○	○	×	○	
3月定例会	産業創出交流センター条例の制定	13:2	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	組織条例（庁舎内各課）の改正	11:4	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	
	特別職（町長▲15%・副町長・教育長▲5%）給与条例の改正	5:10	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	
	学校施設の利用条例の改正	14:1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度一般会計当初予算	13:2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成29年度一般会計当初予算に対する付帯決議	12:3	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
有機物供給施設（豆っこ肥料）増強整備工事請負契約の締結	14:1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議会改革特別委員会の設置	8:7	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○		

### 国による制度改革

伊藤幸男

厳しい経済下で、暮らしのやり繰りが困難。その中で今回の水道料などの値上げは厳しいものがある。国の制度改革で簡易水道から上水道会計に変わり、同会計が経営的に厳しくなる訳だが、国の制度変更とは。上下水道課長 国が簡水制度の補助金などの基準改定をしたために、当町は上水道会計にせざるを得なくなった。